

臨床心理学特論 A

2 単位 (必修) 1 年 (前期)

山本 真由美・教授/臨床心理学専攻, 原 幸一・准教授/臨床心理学専攻

【授業目的】臨床心理学の専門性と倫理観を兼ね備えた、高度専門職業人の基礎を形成する。

【授業概要】臨床心理学の原理や方法論について基礎から学ぶと同時に、様々な心理臨床の現場における実践を理解し、臨床心理士の専門性および倫理について学ぶ。

【キーワード】心理臨床家の基礎、心理臨床家の専門性、心理臨床家の倫理

【関連科目】『臨床心理基礎実習 A』(0.5), 『臨床心理査定演習 A』(0.5), 『臨床心理実習 A』(0.5)

【履修上の注意】山本と原で7~8回ずつ担当する。自ら学ぶという姿勢を期待する。

【到達目標】

1. 臨床心理学の基礎理論について理解する。
2. 臨床心理査定の概略、数種の査定方法について具体的に説明できる。
3. 臨床心理学的援助技法の概略、数種の援助技法について具体的に説明できる。
4. 臨床心理学的地域援助技法の概略について説明できる。
5. 様々な心理臨床の現場とその実践の独自性について説明できる。
6. 臨床心理士の専門性と倫理について、理解を深める。

【授業計画】

1. ガイダンス
2. 臨床心理学の歴史-医学との関連-
3. 心理臨床の見立て (1)
4. 心理臨床の見立て (2)
5. 面接による見立て (1)
6. 面接による見立て (2)
7. 臨床心理学研究法 (1)
8. 臨床心理学研究法 (2)
9. 心理臨床における理論と実践
10. 心理臨床の現場 (医療, 教育, 福祉, 司法, 災害, 産業など)
11. 臨床心理学的援助技法 I(心理臨床における医療モデル, 教育モデル, 発達モデル, 自然モデル等)
12. 臨床心理学的援助技法 II(ことばを中心とした個人面接の心理療法, クライエント中心療法ほか)
13. 臨床心理学的援助技法 III(ことば以外の媒体も用いる心理療法, 遊戯療法, 箱庭療法)

14. 床心理学的援助技法 IV(芸術表現療法, 描画, サイコドラマ, 音楽)

15. 臨床心理学的援助技法 V(その他の心理療法)

16. 臨床心理学的地域援助技法・臨床心理士の専門性と倫理

【成績評価】受講姿勢, 提出レポート等を総合的に勘案して評価する。

【再試験】行わない。

【教科書】下山晴彦編 やわらかアカデミズム・<わかる>シリーズ よくわかる臨床心理学 ミネルヴァ書房 2,800 円

【参考書】適宜参考書を紹介し, プリントを配付する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218210>

【連絡先】

⇒ 山本 (3s06, 088-656-7192, yamamoto@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 原 (hara@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL